

3

Environmental

環境

エグゼクティブサマリー

> 環境ビジョンと環境長期目標

環境ガバナンス

脱炭素社会の実現

高度循環社会の実現

自然共生社会の実現

環境データ

/ 環境ビジョンと環境長期目標

「環境ビジョン」と「日立環境イノベーション2050」

方針 目標 GRI 102-11 / 102-15 / 103-2

日立は、中期経営計画で環境価値の重視を表明し、環境について注力する姿勢を明確にしています。気候変動に関するパリ協定の採択、国連におけるSDGsの制定を踏まえ、日立は2016年に環境長期目標「日立環境イノベーション2050」を策定し推進してきました。2018年に発行された「IPCC 1.5℃特別報告書」では“地球の気温上昇を1.5℃以内に収めるため、さらなる対策が必要”とされ、EU、日本など各国が取り組みを強化してきました。日立の環境長期目標では、バリューチェーンで2050年度に80% CO₂排出量削減(2010年度比)を目標に掲げてきましたが、近年の外的・内的要因や、日立が求められる社会的責任に鑑み、脱炭素社会をめざす目標に、カーボンニュートラルを明記し、今回次のように改訂しました。

脱炭素社会をめざして

- バリューチェーンを通じて2050年度カーボンニュートラルの達成、2030年度 CO₂排出量50%削減(2010年度比)
- 事業所(ファクトリー・オフィス)2030年度カーボンニュートラルの達成

この環境長期目標の達成を含む環境活動は、3年ごとの短期的なアクションプランである「環境行動計画」で定め、日立グループ全社で取り組んでいます。現在は「2021中期経営計画」に合わせて策定した「2021環境行動計画」(2019-2021年度)に取り組んでおり、同計画で設定した詳細なKPIを達成すべく、実績を着実に積み上げています。

環境ビジョンと環境長期目標「日立環境イノベーション2050」

環境ビジョン

日立は、ステークホルダーとの協創による社会イノベーション事業を通じて、環境課題を解決し、生活の質の向上と持続可能な社会の両立を実現する。

日立が環境経営でめざす姿

脱炭素社会
気候変動の緩和・適応

高度循環社会
省資源・再資源化

自然共生社会
生態系の保全

環境長期目標

2050年・2030年を見据えた日立の決意

日立環境イノベーション2050

脱炭素社会をめざすために

バリューチェーンを通じて
2050年度
カーボンニュートラルの達成
2030年度
CO₂排出量 **50%**削減(2010年度比)
事業所(ファクトリー・オフィス)
2030年度
カーボンニュートラルの達成

高度循環社会をめざすために

お客さまや社会とともに
水・資源循環型社会を構築

水・資源利用効率

2050年度 **50%**改善
(2010年度比)

自然共生社会をめざすために

自然資本への
インパクトの

最小化

環境行動計画

長期目標を実現するために、3年ごとに環境活動項目と目標を設定

3

Environmental

環境

エグゼクティブサマリー

環境ビジョンと環境長期目標

環境ガバナンス

脱炭素社会の実現

高度循環社会の実現

自然共生社会の実現

環境データ

環境長期目標の進捗

目標 活動・実績

環境長期目標を達成していくための、代表的な目標の進捗は以下の通りです。概ね予定通りに進捗しており、長期目標の達成に向けて、一層の努力を重ねていきます。脱炭素社会をめざすバリューチェーンの長期目標の達成に関しては、トップレベルの製品の提供を通じて、CO₂排出量削減につながる活動を展開していきます。

脱炭素社会をめざして

CO₂排出量削減(事業所(ファクトリー・オフィス))

	2020年度(実績)	2021年度(目標)	2030年度(目標)	2050年度(目標)
CO ₂ 排出量総量削減率 (日立グループ内 2010年度比)	39%	20%超削減	100%削減(カーボン ニュートラル)	(100%削減を継続)

高度循環社会をめざして

水利用効率改善(事業所(ファクトリー・オフィス))

	2020年度(実績)	2021年度(目標)	2030年度(目標)	2050年度(目標)
水使用量原単位改善率 (日立グループ内 2010年度比)	24%	26%超改善	—	50%改善

資源利用効率改善(事業所(ファクトリー・オフィス))

	2020年度(実績)	2021年度(目標)	2030年度(目標)	2050年度(目標)
廃棄物有価物発生量 原単位改善率 (日立グループ内 2010年度比)	14%	12%超改善	—	50%改善

※ 実績に対する活動の詳細は、当該ページで解説します

3

Environmental

環境

エグゼクティブサマリー

▶ 環境ビジョンと環境長期目標

環境ガバナンス

脱炭素社会の実現

高度循環社会の実現

自然共生社会の実現

環境データ

Hitachi Sustainability Report 2021

環境行動計画

日立は、「環境ビジョン」と環境長期目標「日立環境イノベーション2050」の実現に向けて、中期経営計画の期間に合わせ、3年間の指標と目標を設定した「環境行動計画」を策定し、その実行を着実に進めています。

2021環境行動計画(2019-2021年度)

目標 活動・実績

日立は、「2021中期経営計画」の策定に合わせて設定した「2021環境行動計画」(2019-2021年度)のもと、環境活動に取り組んでいます。2020年度および2021年度に設定した目標と2020年度の実績は以下の通りです。なお、各目標の3年間の達成状況を評価・管理するためのツールとして「GREEN 21」を運用しています。

◆◆◆：達成 ◆◆：一部達成

2021環境行動計画																
環境長期目標を実現するために、3年ごとに環境活動項目と目標を設定																
環境マネジメント																
項目		指標			2020年度目標		2020年度実績(達成状況)		最終年度(2021年度)目標							
環境人材育成の推進		日立グループ環境人材の育成														
グローバル環境管理強化		ビジネスユニット(BU)、グループ会社による海外事業所環境監査自主実施率(実施事業所数/対象事業所数)			50%		34%◆◆		80%							
脱炭素社会					高度循環社会					自然共生社会						
項目	指標	2020年度目標	2020年度実績(達成状況)	最終年度(2021年度)目標	項目	指標	2020年度目標	2020年度実績(達成状況)	最終年度(2021年度)目標	項目	指標	2020年度目標	2020年度実績(達成状況)	最終年度(2021年度)目標		
製品・サービスのCO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量原単位削減率(2010年度比)	20%	20%◆◆◆	21%	水循環(ファクトリー・オフィス)	水利用効率の改善	水使用量原単位改善率(2010年度比)	24%	24%◆◆◆	26%	化学物質(ファクトリー・オフィス)	化学物質排出量の削減	化学物質大気排出量原単位改善率(2010年度比)	17%	33%◆◆◆	18%
	気候変動に関するリスクと機会	リスクと機会の特定と見直しの実施				水リスクへの対応	水リスク調査結果に応じた対策推進					生態系保全	自然資本へのインパクト削減	負のインパクト算出(事業活動の環境影響評価)		
事業所(ファクトリー・オフィス)のCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量原単位改善率*1(2010年度比)	8%	1.4%◆◆	9%	資源循環(ファクトリー・オフィス)	資源利用効率の改善、廃棄物の削減、再生利用	廃棄物有価物発生量原単位改善率(2010年度比)	11%	14%◆◆◆	12%	生態系保全への貢献		正のインパクト算出(森林保全活動便益)			
輸送のCO ₂ 削減	輸送エネルギー原単位改善率(日本)*2(2010年度比)	10%	1%◆◆	11%												
環境行動計画の達成度評価 「GREEN 21」																

*1 CO₂排出量原単位改善率：自社で消費したエネルギーによるCO₂排出量の削減分のみによる指標

*2 日本国内の目標であり、日本以外については任意目標

3

Environmental

環境

エグゼクティブサマリー

> 環境ビジョンと環境長期目標

環境ガバナンス

脱炭素社会の実現

高度循環社会の実現

自然共生社会の実現

環境データ

環境行動計画の達成度評価「GREEN 21」

制度 活動・実績

日立は、環境行動計画に定めた目標の3年間の達成状況を評価・管理するための仕組みとして「GREEN 21」を運用しています。

「GREEN 21」は、主要拠点(A区分)約160カ所の環境行動計画の目標達成状況をグリーンポイント(GP)に換算し、カテゴリーごとに評価しています。各カテゴリーの満点を100GPとして、環境行動計画各年度の達成状況に応じてポイント化し、意欲的な活動にはインセンティブとして加点しています。達成状況をGPで示すことで、各拠点におけるカテゴリー別の達成度や、拠点間の比較が可能となり、環境行動計画のPDCAに活用しています。

また、「GREEN 21」での評価結果は、サステナビリティ推進本部が、高いレベルで環境に配慮した活動を推進して成果を上げている事業所を「エコファクトリー&オフィスセレクト」として認定する条件の一つとして活用しています。

2020年度の実績

カテゴリーごとの評価点を合計した総合評価は、223GPと2020年度の基準点240GPを下回りました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で海外渡航の制限や生産量の減少があり、評価項目である「グローバル環境管理強化」と「事業所のCO₂排出量原単位改善」で目標を下回ったことが要因です。

▶ 「GREEN 21」の2020年度評価結果(日立グループ)

..... 2020年度基準点:240GP

■ 2020年度実績:223GP

